

子どもと関わる大人の現場ですぐに役立つ研修会

特定非営利活動法人 みやぎ・せんだい子どもの丘
〒981-0931 宮城県仙台市青葉区北山 1-5-22

助成事業の概要

<実施目的>

専門的な知識を学び理解を深めるだけでなく、もっと根本的な専門職としての理念や子ども観についてしっかり見つめ見識を高めることを目標とします。子どもの現場で働く職員が夢を持ち前向きになれるように全国的に注目されるような講師陣を招聘し、学ぶ楽しみ、子どもと関わることの面白さ、誇りを持って働くモチベーションを奮立たせる研修会を開催します。

<対象>

保育所、児童館、放課後児童クラブ等 子どもと関わる施設・事業従事者全般

<日時・内容等>

① 1月29日(日) 14:00~16:00 講師：汐見稔幸(東京大学名誉教授、前日本保育学会会長)
演題：『いきいき子育て術～子育ては、地域ぐるみ 町ぐるみ～』

内容：子どもと楽しみながら保育を作り上げること、地域を巻き込んだ保育環境の構築の重要性など

会場：涌谷公民館 交流ホール

② 8月7日(日) 14:00~15:30 講師：新沢としひこ(シンガーソングライター)

演題：『子どもの歌がもっと楽しくなるために』

内容：保育士時代にりんごの木で学んだことや音楽と親しむコツ等、ミニコンサートも実施

会場：仙台幼児保育専門学校 大ホール

③ 6月5日(日) 10:00~12:00 講師：荒井良二(絵本作家)

演題：ライブペインティング

内容：絵本作家荒井良二によるライブペインティング。始まる前に絵本を描く時のイメージなどトーク有。

会場：仙台幼児保育専門学校 校舎内

事業の成果

① 1月29日(日) 14:00~16:00 講師：汐見稔幸(東京大学名誉教授、前日本保育学会会長)
⇒参加者数：120名(保育所、幼稚園、児童館、放課後児童クラブ等の職員、地域の方々)

前日本保育学会会長で社会保障審議会児童部会保育専門委員会委員長、NHK「すくすく子育て」のパーソナリティーなど、日本の保育、教育を牽引し、長年に渡り子どもと関わる現場を支え、知り尽くしている汐見氏にご講演頂きました。AI時代を迎え、持続可能な地球環境を考える、かつてない課題に挑み克服できる人材を育てるために能動的な学び環境が必須だということ、群れ子育ての重要性、こども園などの施設がその中心を担っていくこと、腸内細菌と健全な育ちに因果関係があることが最近の研究で分かってきたこと、などなど。たくさんの学び、気付きのあった講話となりました。

② 8月7日(日) 14:00~15:30 講師：新沢としひこ (シンガーソングライター)

⇒参加者数：72名 (保育所、幼稚園、児童館、放課後児童クラブ等の職員および学生)

保育、幼児教育の現場職員であれば誰でも知る「にじ」「せかいじゅうのこどもたちが」「はらぺこあおむしのうた」など多数の楽曲を手掛ける新沢としひこ氏にお話頂きました。自分自身の子どものころの体験談や、保育士時代に子どもたちと本気で遊んだことが今の自分の根っこにある話などを伺い、現場ですぐに使えるあそびうたをたくさん教えて頂きました。保育現場でいつも歌われる曲ばかりで自然と笑顔になり楽しんでいるのが印象的でした。全身を使い音楽にのって楽しむ曲では元気に体を動かし、コロナ禍で溜めていたストレスを発散しているように見受けられました。

③ 6月5日(日) 10:00~12:00 講師：荒井良二 (絵本作家)

⇒参加者数：45名 (児童館職員、放課後児童クラブ職員、保育園、幼稚園職員等)

日本人で初めてリンドグレーン賞を受賞した絵本作家の荒井良二氏をお招きし、ライブペインティングを開催しました。絵本づくりの際の様々なエピソードや、どうやって創作しているかなどのお話を聞き、大きな壁面に町の風景を描いて頂きました。絵本は物語を伝えるものですが、そこに描かれる絵が重要で子どもたちは絵を入りにイメージを膨らませ、想像力を養うのだと感じることができた公演でした。何も無い白い壁にぼんやり描かれていた街並みが次第に鮮明になると、会場から自然とため息や驚きの声があがりました。保育現場では子どもたちと制作する時間が多くあり、それは自分の中にある物語や描きたいもの、感情などを表現することが大切ですが、保育生活での制作はその目的を忘れがちになることを改めて感じ、表現活動を楽しむ気持ちを育むた

めに必要なことは、関わる大人、保育者がいかに楽しみながらそういう機会を作り出せるのかにかかっていると思いました。

成果の広報・公表

<広報>

- ・チラシを①1,000枚、②1,000枚、③1,000枚の3,000枚を印刷し、特に仙台市を中心に宮城県内の児童館、保育園、幼稚園、放課後児童クラブなど子どもと関わる現場に配付しました。(当団体が運営する20カ所以上の施設、事業所含む)

<公表>

- ・研修内容についてホームページ等で公表し、各回の事業報告を団体Facebookに投稿し、開催内容について広く発信しました。

今後の展開

これまでも、普段お招きできない講師陣にお越し頂き、コロナ禍の中で参加人数を限定して開催してきました。今後は、さらに参加できる人数を増やし、より多くの方に学ぶ機会、自身の考えと向き合う機会を提供できるか検討し、効果的に現場職員に届ける形を模索していきたいと思えます。「子どもの現場ですぐに役立つ研修会」というタイトルですが、単純にスキルや知識を深める内容ではなく、もっと根本的な、子どもと関わる業種に就こうと思ったきっかけを再確認できるような、前向きな研修会を実施したいと思えます。コロナ禍や社会情勢の不安から、実務や保護者対応、子どもたちの不安な気持ちに心を寄せる時間が増えたと現場職員から多く聞かれます。そういう時代だからこそ現場で日々仕事に励む職員がリフレッシュできる場、頭の中を整理できる研修をこれからも企画していきたいと思えます。